

平成27年度 事業別予算概要

事業名	91200	外国青年(外国語指導助手)招致事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	高山市教育振興基本計画	市長公約	高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します
	種別			9	教育費	基本分野		3	教育・文化	実施計画事業		外国青年(外国語指導助手)招致事業		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	2362	項	1	教育総務費	分野	1	学校教育	H27実施計画額	千円		
	目	2	事務局費	施策概要	1	自ら学び考える力の育つ教育の推進								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童生徒	どうしたいのか (意図)	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が生きた英語に接し、コミュニケーションする機会が充実している 児童生徒が英語を中心とする異文化理解の資質を持ち、郷土を愛し郷土の文化を尊重している 	概要	事業の実施 手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の外国語活動の時間に、担任とともに英語によるコミュニケーション活動を行う 中学校の英語の時間に英語教師とともに英語指導をする イングリッシュタワーや英語スピーチコンテストなどに参加する児童生徒を支援する
	対象者数	7,771 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		外国語指導助手(ALT)11名を市内小中学校へ派遣 外国語指導助手(ALT)更新に伴う旅費等の費用負担(H25年度は3名更新)						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
		外国語指導助手の招致人数	人	目標値	12	12	12	13
	算出根拠等			実績(見込)	11	11	11	
				達成率(%)	92	92	92	
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H25決算における 分析・評価で 明らかになった課題	高山市の子どもが、郷土について自信をもって英語で話すことができるよう、ALTが取り組んできたテキストの活用方法の検討が必要。また、コミュニケーション能力の育成という視点から、小中学校だけでなく、高校までの連携を視野に入れ、授業参観やその後の意見交流の機会をもち、子どもたちが国際観光都市高山を世界に発信することができるよう系統的な指導の充実を図ることが必要。
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回行っているALT会議で「高山と周辺地域の紹介(英語版)」を現教科書のどこの単元に位置付けることができるか検討する。 ・小・中学校の英語科教諭や高等学校の英語科教諭、高山市のALTと高校のALTが自主的に参加する指導力向上研修を実施し、ALTと英語教師によるチームティーチングの改善のための研修を継続する。 ・ALTの授業力向上のための授業参観と評価を適時行う。
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	9,692	8,111	10,752	12,425
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,187	1,008	1,359	1,599
	受益者	小中学校児童生徒	(B)	8,162	8,047	7,910	7,771

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の英語教育を充実するための外国語指導助手12名の研修及び着任旅費等の経費 	要求の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 外国語指導助手(ALT)を1名増員 	事業 実施 の 課題	<ul style="list-style-type: none"> 新規に着任するALTの指導力の向上と中学校英語科教諭及び小学校5・6年生担任科教諭の指導力の向上
------	--	-------------	---	---------------------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		10,752	12,425	1,673	13,056	13,056	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・国際化に対応できる教育環境を整備するため、外国語指導助手(ALT)を2名増員する 	財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	1,100	1,160	60	1,200	1,200		
	一般財源	9,652	11,265	1,613	11,856	11,856		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	91210	教育委員会事務局運営事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	高山市教育振興基本計画		市長公約
	款			9	教育費	基本分野		3	教育・文化		実施計画事業		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線 2359	項	1	教育総務費	分野	1	学校教育	H27実施計画額			千円
	目	2		事務局費	施策概要	2		豊かな心と健やかな体を育む教育の推進					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童生徒、小中学校教職員	どうしたいのか (意図)	・教職員の健康維持、病気の早期発見(学校保健安全法に基づく) ・日本スポーツ振興センター加入促進により、学校管理下における児童生徒の災害発生時の保護者経費負担の軽減を図る。 ・児童生徒の健全な育成のための、教職員や学校医等の活動に対して支援する。	概要	事業の実施手法(手段)	・県費教職員及び保健相談員を対象とした胸部レントゲン検査及び県費教職員を対象に年代別健康診断を行う。 ・保護者の日本スポーツ振興センター共済掛金の一部を負担する。 ・教職員や学校医で組織される各種団体の上部団体からの分担金の負担および、団体への助成を行う。
	対象者数	8,461 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年代別健康診断 166人 1,111千円 ・胸部レントゲン検査 567人 596千円 ・共済掛金の一部負担金 8,047人 7,543千円 ・各種団体への負担金、補助金の支出 負担金 9団体 2,839千円、補助金 1団体 2,700千円 						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	年代別健康診断(胸部レントゲン検査を除く)受診者数	人	目標値	181	185	185	185
	算出根拠等		実績(見込)	153	166	185	
活動指標	胸部レントゲン検査受診者数	人	目標値	550	550	550	550
	算出根拠等		実績(見込)	533	567	566	
成果指標	保険加入者数	人	目標値	8,162	8,047	7,910	7,771
	算出根拠等	5/1現在児童生徒数	実績(見込)	8,159	8,047	7,907	
活動指標	交付先団体数	団体	目標値	10	10	10	10
	算出根拠等		実績(見込)	10	10	10	
補足			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全対象者が漏れなく受診できるよう、日程調整等を実施した。 ・引き続き学校を通じて保護者へ制度を周知した。 ・各機関、団体と連携を密にした事業をより効率的に実施する。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	14,786	14,789	15,310	15,368
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,677	1,698	1,785	1,816
	受益者	小中学校教職員、保健相談員、小中学校児童生徒 (B)	8,819	8,708	8,578	8,461

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県費教職員及び保健相談員を対象とした胸部レントゲン検査及び県費教職員を対象とした健康診断の実施 ・保護者の共済掛金の一部を負担 ・教職員や学校医で組織される各種団体の上部団体からの分担金の負担及び、団体の事業費への助成 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員等の健康の維持 ・保護者への災害補償制度の周知
------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		15,310	15,368	58	15,322	15,322	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	3,545	3,358	△187	3,489	3,489		
	一般財源	11,765	12,010	245	11,833	11,833		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	91240	教育研究所運営事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	高山市教育振興基本計画		市長公約
	課			9	教育費	3		教育・文化	実施計画事業		教育研究所運営事業		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内 線	項	1	教育総務費	分野	1		学校教育	H27実施計画額	千円	
	3456			目	2	事務局費		1	自ら学び考える力の育つ教育の推進				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	教職員及び児童生徒、保護者等	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 教育研究所(研究・研修センター・相談・資料センター)を中心に教職員や児童生徒等の支援が充実している であい塾の運営や相談体制の充実などにより不登校児童生徒の学級復帰への支援が行われている 幼保小連携協議会を中心とした活動により、幼稚園や保育園から小学校への円滑な就学ができる 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 指導力向上に資する教員研修を行う 指導主事が学校訪問し教職員の指導を行う であい塾(不登校児童生徒適応指導教室)の管理、運営を行う 朝のスタートプランなどによる生活習慣形成の支援を行う
	対象者数	89,797 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		<ul style="list-style-type: none"> 教育研究所・であい塾の運営 教員研修、教育相談の実施 であい塾バスの運行 						
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動 指 標	教員研修開催状況	回	目標値	96	84	90	100
		算出根拠等		実績(見込)	105	105	100	
	成果 指 標	教員研修参加状況	人	目標値	850	950	1,000	1,500
		算出根拠等		実績(見込)	1,665	1,640	1,500	
	成果 指 標			目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
	成果 指 標			目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
	補 足			目標値				
算出根拠等			実績(見込)					

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談や不登校児童生徒への対応、教職員の指導力の向上のための教員研修の充実など多くの課題に対応できるよう、指導主事の増員等による研修機会の充実が必要である。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の状況を多面的に分析・把握するため、あたたかな人間関係づくりのための心理検査の分析方法等の研修を積極的に行う。 若年層の教員・講師を中心とした研修機会の充実を行う。 	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校で実施する、あたたかな人間関係づくりのための心理検査や学力状況調査等を分析・研究し、有効的に指導に活用する。 若年層の教員・講師への研修機会を充実させ、資質の向上を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	(担当課評価に同じ)	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	7,294	3,898	5,885	6,930
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	79	42	64	77
	受益者	全市民	(B)	92,861	92,097	91,605	89,797

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 教育研究センター 教育研修センター 教育相談センター 教育資料センター であい塾(不登校児童生徒適応指導教室)にかかる運営経費 	要求のポイント	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談やいじめ等の問題、不登校児童生徒への対応
------	---	---------	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,885	6,930	1,045	6,385	6,385	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金		530	530	440	440		
	その他			0				
	一般財源	5,885	6,400	515	5,945	5,945		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	91250	特別支援教育推進事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	高山市教育振興基本計画	市長公約
	款			9	教育費	基本分野		3	教育・文化	実施計画事業		特別支援教育推進事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	項	1	教育総務費	施策概要	分野	1		学校教育	H27実施計画額	千円
	2362	目		2	事務局費	1		自ら学び考える力の育つ教育の推進					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童生徒	どうしたいのか (意図)	・学びにくさ、生活のしづかさなどの困り感を抱えた児童生徒が、自立して社会参加できる力を身に付けている	概要	事業の実施手法(手段)	・就学相談会、特別支援教育講演会、教育支援委員会を開催する ・医療行為を必要とする障がい児等を訪問看護により支援する ・幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校等、就学前から卒業までを見据えた切れ目ない支援を行う
	対象者数	7,771 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		<ul style="list-style-type: none"> ・巡回就学相談会、特別支援教育講演会の開催 ・医療行為を必要とする障がい児等への訪問看護による支援 ・幼稚園・保育園と小学校の連携の支援 						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
		教育支援委員会の情報交流件数	件	目標値	300	400	400	400
	算出根拠等	実績	実績(見込)	406	487	520		
	達成率(%)	135	122	130				
	成果指標	巡回就学相談件数	件	目標値	45	40	46	50
		実績(見込)	40	46	50			
	算出根拠等	実績	達成率(%)	89	115	109		
	成果指標	特別支援講演会	回	目標値	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1			
	算出根拠等	実績	達成率(%)	100	100	100		
算出根拠等	目標値							
	実績(見込)							
算出根拠等	達成率(%)							
算出根拠等	目標値							
	実績(見込)							
算出根拠等	達成率(%)							
算出根拠等	目標値							
	実績(見込)							
算出根拠等	達成率(%)							
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	共生社会の実現に向けて、講演会の充実を図ること等で発達障がい等に対する市民、保護者の理解をさらに深めることにより、一人一人の子どもにあった就学指導が円滑に進むようにしていくことが必要である。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・発達障がいに対する理解や特別支援教育に対する理解を深めるため、特別支援教育講演会を開催し、市民の意識の改善を図る。 ・医療行為を必要とする障がい児等の保護者への訪問や個別の会議を継続して行い、必要に応じて訪問看護による支援を行う。	
次年度の実施方針	担当課評価 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・幼稚園、保育園、療育施設などの連携により、支援が必要な園児等の実態を早期につかむとともに、障がい児就学相談への参加を促す。 (担当課評価に同じ)
	二次評価 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	303	280	620	421
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	746	575	1,192	1,053
	受益者	教育支援委員会の情報交流件数	(B)	406	487	520

5 予算編成(Action2)

事業内容	・講演会、相談会、教育支援委員会の開催 ・障がい児等就学支援	要求のポイント	事業実施の課題	・障がいに対する市民の理解のさらなる向上と、学びにくさなど困り感を抱えた児童生徒の教育的ニーズの把握 ・就学前から卒業までを見据えた切れ目ない支援
------	-----------------------------------	---------	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		620	421	△ 199	390	390	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	620	421	△ 199	390	390		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	92200	小学校運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	高山市教育振興基本計画	市長公約
種別				款	9	教育費		基本分野	3	教育・文化	実施計画事業	小中学校運営事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課			項	2	小学校費		分野	1	学校教育	H27実施計画額	千円	
	2358			目	2	教育振興費		施策概要	1	自ら学び考える力の育つ教育の推進			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営に関する費用を負担することにより義務教育の充実を図る 陸上記録会、音楽会など全教育活動を通して児童の心身の健全育成を図る 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営に関する費用を負担する 新入学時に安全な通学のため安全帽子と防犯ブザーを配布する あたたかな人間関係づくりのための心理検査を実施し学級経営を支援する 児童の健康診断を実施する 音楽会や陸上記録会等の行事を開催する
	対象者数	4,922 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営にかかる経常経費 31,391千円 あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施 1,571千円 							
成果面	活動指標	児童数	人	目標値	5,329	5,164	5,017	4,922
		実績(見込)		5,329	5,164	5,017		
		算出根拠等	5月1日現在	達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	学校数	校	目標値	19	19	19	19
		実績(見込)		19	19	19		
		算出根拠等	5月1日現在	達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	新入学児童数	人	目標値	791	822	815	824
		実績(見込)		791	822	815		
		算出根拠等	5月1日現在	達成率(%)	100	100	100	
	補足			目標値				
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 児童の状況を多面的に分析・把握するため、心理検査を継続実施した。 		
次年度の実施方針	担当課評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 心理検査の実施により学級経営の課題を教員が共有できるようになったため、さらに検査の実施学年の拡大を図る。
	二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 心理検査のより有効的な活用を検討するとともに、効果を検証していく必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	36,365	38,062	40,180	65,892
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	6,824	7,371	8,009	13,387
	受益者	小学校児童	(B)	5,329	5,164	5,017

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の運営に係る経費 あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施 児童健診、検尿、心電図等検査費用 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 教科書改訂に伴う教科書・指導書の整備 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 児童の多面的分析の継続実施 児童の健康の維持
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	40,180	65,892	25,712	64,060	64,060	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	700	740	40	740	740		
一般財源	39,480	65,152	25,672	63,320	63,320		

平成27年度 事業別予算概要

事業名 92210 小学校心の教育推進事業費	内線 2362	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	高山市教育振興基本計画		市長 長約		
		款	9	教育費		基本分野	3	教育・文化		実施計画事業	心の教育推進事業			
		項	2	小学校費		分野	1	学校教育			H27実施計画額		千円	
		目	2	教育振興費		施策概要	4	学びのセーフティネットの構築						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 児童	どうしたいのか(意図)	・個々の内面に寄り添い支援しながら、一人一人が持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする ・児童の学校生活への不適応やいじめ、不登校問題などの未然防止を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・特別な教育支援や心のケアを必要としている児童の支援のため、保健相談員を派遣する ・スクールカウンセラー(臨床心理士)を派遣し、心のケアを行う
対象者数	4,922 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		保健相談員 39名を各小学校へ配置 臨床心理士によるカウンセリング時間 340.5時間						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
		保健相談員対応時間数	時間	目標値	24,897	27,673	31,122	33,061
	算出根拠等	予算額(決算額)÷980円/時	実績(見込)	24,897	27,591	31,122		
	達成率(%)	100	100	100				
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
		カウンセリング実施総時間数	時間	目標値	400	400	400	400
	算出根拠等		実績(見込)	393	341	400		
	達成率(%)	98	85	100				
	算出根拠等	目標値						
		実績(見込)						
達成率(%)								
算出根拠等	目標値							
	実績(見込)							
達成率(%)								
算出根拠等	目標値							
	実績(見込)							
達成率(%)								
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・心に悩みを持つ児童の心のケア、不登校傾向児童への支援などさまざまな支援が必要になっている。 ・通常学級に在籍し発達障がい等を抱える児童への学習支援や集団への適応支援を行う必要がある。 ・支援が必要な児童に十分対応するには、保健相談員の時間数や人数を増やす必要がある。 ・保健相談員のスキルアップのための研修会をさらに充実させる必要がある。 ・時間数の大部分が本人や保護者への相談の要望に届えていることは大変良いが、さらに、本人や保護者の困り感に対してどのように支援すべきかなど、学校とスクールカウンセラーの連携方法について、さらに研究を進めていきたい。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・さまざまな支援が必要になっており、保健相談員だけでなく教育相談担当や担任等と連携し、相談事業に対応している。 ・年度当初の保健相談員研修会で、発達障がいへの理解や支援方法、不登校児童への支援の在り方等についての研修を行った。 ・夏季には、発達障がい等の支援法に加え、不登校児童への支援の在り方についても研修を行う。 ・県に対し、市の実情を知らせ相談員の増員を働きかけた。 ・児童の学校生活への不適応やいじめ、不登校などに対応するため、保護者や本人に対する相談活動だけでなく、その支援策を学校と相談する機会を増やしてきた。県に対してスクールカウンセラーの派遣数の増加を要望する。		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・きめ細やかな支援を必要とする児童が増えているため、相談員の増員や時間数の拡充、また、相談員のスキルアップを行っていく。 ・発達障がい等を抱える児童や、いじめ・不登校などに対応するため、継続して事業を実施する。
	二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・相談員及び教職員のスキルアップに取り組んでいく必要がある。 ・県に対し、相談員の配置を強く働きかける必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 26,409	28,751	32,550	39,767
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 4,956	5,568	6,488	8,079
	受益者 小学校児童	(B) 5,329	5,164	5,017	4,922

5 予算編成(Action2)

事業内容	・保健相談員の賃金 ・特別な教育支援を必要とする児童の支援 ・心に悩みを持つ児童の心のケア ・スクールカウンセラー(臨床心理士)の派遣	要求のポイント	・特別な教育支援を必要とする児童に対する個別支援体制の強化	事業実施の課題	・心に悩みを持つ児童の心のケアに対応できる保健相談員の確保 ・児童の学校生活への不適応やいじめなど個別具体的な支援の継続
------	--	---------	-------------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	32,550	39,767	7,217	34,950	34,950	・普通交付税算入額を参考に積算 ・個別支援体制の強化に必要な経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	32,550	39,767	7,217	34,950	34,950		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	92220	小学校教育機器整備事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	高山市教育振興基本計画		市長公約
	種 目			9	教育費	3		教育・文化	実施計画事業		教育機器整備事業		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内 線	項	2	小学校費	分野	1		学校教育	H27実施計画額	千円	
	2358			目	2	教育振興費		1	自ら学び考える力の育つ教育の推進				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童	どうしたいのか(意図)	児童の学習意欲の向上と学力の定着を図る 情報教育により情報化社会に対応した情報通信機器を活用できる力の習得や規範意識の向上を図る	概要	事業の実施手法(手段)	情報通信関連機器などの教具・教材を整備する
	対象者数	4,922 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	教材備品の充実 小学校用教材備品の購入 15,667千円、理科教育設備等整備事業 17,784千円 ・WindowsXPのサポート終了に伴う、OSのアップグレード ・新規リースによる老朽化パソコンの更新 ・セキュリティソフトのライセンス購入 ・サーバの保守						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	学級数	学級	目標値	228	231	226	230
			実績(見込)	228	231	226	
活動指標	パソコン設置台数	台	目標値	1,540	1,022	1,008	1,014
			実績(見込)	1,035	1,008	1,014	
成果面	算出根拠等	5月1日現在	達成率(%)	100	100	100	
			目標値				
成果面	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
補足	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
補足	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・各学校の希望を考慮しながら、学校間のバランスにも配慮した学校教材の整備が課題である。 ・教育用パソコンをはじめ、積極的に情報通信機器を活用し、授業の充実をさらに図る必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・校長会、学校事務職員部会等と連携して、早期発注できるよう各学校の希望を考慮しながら学校間のバランスに配慮した学校教材の整備を行う。 ・校長会等を通じて、情報通信機器のさらなる活用を促し、理科、社会など多くの教科で教育用パソコンを活用した授業を実施している。 ・教育系サーバ機器の計画的な更新を行う。	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・継続して選定基準の作成・見直しを行いながら、早期発注に努める。 ・機器更新にあたり、児童の学習意欲の向上と学力定着につながる教育環境の整備を検討する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・教育用パソコンを積極的に授業に活用する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	20,615	50,155	39,900	43,624
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	3,868	9,712	7,953	8,863
	受益者	小学校児童	(B)	5,329	5,164	5,017	4,922

5 予算編成(Action2)

事業内容	・教材備品の整備 ・パソコン教育の推進のための経費	要求のポイント	事業実施の課題	・早期発注による備品整備 ・計画的な機器更新とセキュリティの向上
------	------------------------------	---------	---------	-------------------------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		39,900	43,624	3,724	41,890	41,890	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	39,900	43,624	3,724	41,890	41,890		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	92230	小学校図書教育推進事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	高山市教育振興基本計画	市長公約
	種 目			9	教育費	基本分野		3	教育・文化	実施計画事業		図書教育推進事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内 線	項	2	小学校費		分野	1	学校教育	H27実施計画額	千円	
	3456	目		2	教育振興費	施策概要		1	自ら学び考える力の育つ教育の推進				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童	どうしたいのか (意図)	・読書センターとして読書に親しめる環境が整っている ・学習・情報センターとして、自ら調べ学べる環境が整っている	概要	事業の実施 手法(手段)	・公共図書館と連携し、専門知識を有する図書館司書等による学校図書館の管理・運営を行う。 ・バランスの取れた選書による図書購入を行う。
	対象者数	4,922 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		・図書購入 9,159冊						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
		年間購入冊数	冊	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
	算出根拠等		実績(見込)	9,099	9,159	10,000		
	達成率(%)		91	92	100			
	成果指標	国の蔵書基準を上回る学校数	校	目標値	19	19	19	19
		算出根拠等		実績(見込)	17	17	17	
	達成率(%)		89	89	89			
	算出根拠等		目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
算出根拠等		目標値						
算出根拠等		実績(見込)						
算出根拠等		達成率(%)						
補足		目標値						
		実績(見込)						
		達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

H25決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・図書システムのさらなる活用を検討し、児童の貸し借りをスムーズに行っていくとともに、児童が自ら図書を検索し、購入する図書のリクエストをしたり、調べ学習に活用できる図書を見つけて利用したりできるようにするための指導を充実していく。 ・学習・情報センターとしての機能向上を図るため、図書館主任と学校図書館指導員の協働により、教科書で扱われる題材に関連した図書の展示方法の工夫や通信による紹介など、図書館運営のあり方を充実させていく。
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況	・学校図書館図書選書委員会において、共通図書の購入の検討や各学校の図書の分類別のバランスがとれた選書を行う。 ・より充実した図書館運営のために、年3回の図書館部会を開催し、図書館主任と図書館指導員が協働して学校経営の中に図書館利用を位置付けていく。 ・調べる学習にもつながるように、児童の興味関心を年度当初に把握し、それに合う図書の選書を行う。																	
次年度の 実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課 評価</td> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">・学習・情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、学校図書館システムの効果的な活用を図る。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次 評価</td> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課 評価	○維持・改善	・学習・情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、学校図書館システムの効果的な活用を図る。		拡大		縮小	二次 評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)		拡大		縮小		廃止検討	
	担当課 評価	○維持・改善	・学習・情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、学校図書館システムの効果的な活用を図る。															
	拡大																	
	縮小																	
二次 評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)																
	拡大																	
	縮小																	
	廃止検討																	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	46,706	44,505	45,970	45,965
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	8,764	8,618	9,163	9,339
	受益者	小学校児童	(B)	5,329	5,164	5,017	4,922

5 予算編成(Action2)

事業内容	・学校図書館の管理運営 ・分野ごとにバランスの取れた選書による図書の整備	要求の ポイント	事業 実施の 課題	・学校図書館の学習・情報センターとしての機能強化
------	---	-------------	-----------------	--------------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		45,970	45,965	△5	45,970	45,970	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	45,970	45,965	△5	45,970	45,970		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	92240	小学校裏保護及び準要保護等 児童援助事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	高山市教育振興基本計画		市長公約
	種別			9	教育費	3		教育・文化	実施計画事業		要保護及び準要保護等児童生徒援助事業		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	項	2	小学校費	分野	1		学校教育	H27実施計画額	千円	
	2358			目	2	教育振興費		4	学びのセーフティネットの構築				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童	どうしたいのか (意図)	・経済的理由のため就学困難と認められる児童の就学を援助する ・特別支援学級等に在籍する児童の就学を奨励する	概要	事業の実施 手法(手段)	・保護者の収入等に応じて、必要な学用品費等や学校給食費の全部または一部を援助する。
	対象者数	4,922 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	要保護・準要保護等児童援助費 359人 20,760千円								
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27	
	援助している児童数			人	目標値	414	420	401	373
					実績(見込)	360	359	363	
		算出根拠等		年間認定者数		達成率(%)	87	85	91
	算出根拠等				目標値				
					実績(見込)				
					達成率(%)				
	算出根拠等				目標値				
					実績(見込)				
					達成率(%)				
	算出根拠等				目標値				
					実績(見込)				
			達成率(%)						
算出根拠等				目標値					
				実績(見込)					
				達成率(%)					
算出根拠等				目標値					
				実績(見込)					
				達成率(%)					
補足									

3 分析・評価(Check)

H25決算における 分析・評価で 明らかになった課題	
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況		・就学困難と認められる児童の保護者に対して従前と同様に支援を行い就学を奨励する
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・国の制度改正の動向等を把握しながら、引き続き、必要な援助、学校給食費の全部または一部を補助することにより就学を奨励していく。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	21,079	20,760	25,310	25,010
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	58,553	57,827	63,117	63,801
	受益者	援助している児童数	(B)	360	359	401	392

5 予算編成(Action2)

事業内容	・要保護及び準要保護児童への就学援助 ・特別支援学級就学児童への就学奨励	要求のポイント	事業実施の課題	・学校と連携した制度の周知の継続
------	---	---------	---------	------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		25,310	25,010	△ 300	23,600	23,600	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金	1,900	2,150	250	2,150	2,150		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	23,410	22,860	△ 550	21,450	21,450		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	92260	小学校郷土教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	高山市教育振興基本計画	市長公約	高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します
種別				款	9	教育費		基本分野	3	教育・文化	実施計画事業	郷土教育推進事業		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	2	小学校費	分野	1	学校教育	H27実施計画額	千円				
	2362	目	2	教育振興費	施策概要	3	地域全体の協働による郷土教育の推進							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童	どうしたいのか(意図)	・子ども教育参画会議を中心とする地域の教育力を活用した教育を推進する ・学校や地域の特性を生かした特色ある教育活動を推進する	概要	事業の実施手法(手段)	・子ども教育参画会議や子ども教育地域連携協議会と連携する ・各学校の特色ある学校経営を支援する。 ・各学校でその地域の特色ある講師や、児童に興味関心を持たせることができる講師を招き様々な学習活動を行う。
	対象者数	4,922 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		<ul style="list-style-type: none"> 外部講師による授業時間 950時間 特色ある学校運営推進協議会補助金 4,863千円 						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
		外部講師活用時間数	時間	目標値	950	950	950	950
	算出根拠等			実績(見込)	950	950	950	
				達成率(%)	100	100	100	
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・特色ある学校経営推進事業については、協議会で各学校の事業計画の内容についてよく精査し、郷土教育を軸とした特色となる事業を実施できるよう指導していく必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 特色補助金における事業内容については、平成26年度は「郷土教育を軸とした学校づくり」の視点から地域との連携を図りながら、地域の特色を生かした学校経営の計画を練り上げるように指導をした。学校が、地域との結びつきや郷土教育の視点を重視し、継続的に取り組んでいる伝統的な事業や、その時々々の情勢に合わせ夢と活力ある学校づくりにつながる新規事業を認定した。 ダンスや音楽など専門性の高い講師活用に加え、郷土教育の場面でも地域の方から学ぶ機会が多いことから、外部講師の活用計画を立て効果的に活用する。 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 事業を継続しながら、各校での事業内容が特色を生かした学校経営、豊かな教育環境の創出につながるよう指導していく。 多様な事業の実施方法を紹介し、地域の人材をより効果的に活用し、児童の豊かな学習活動につなげる。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある学校経営推進協議会補助金について引き続き各校の実施内容を精査するとともに、効果を検証していく必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	6,514	6,763	7,280	8,211
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,222	1,310	1,451	1,668
	受益者	小学校児童	(B)	5,329	5,164	5,017	4,922

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある学校経営推進事業に対する助成 外部講師への謝礼 キャリア教育の推進 	要求のポイント	・郷土教育(特色ある学校経営、リーダー育成のためのキャリア教育)の推進	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 多様な学習、体験のため、講師に地域の人材を活用 特色ある学校経営推進事業の効果的実施
------	---	---------	-------------------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		7,280	8,211	931	7,740	7,740	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	7,280	8,211	931	7,740	7,740		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	93200	中学校運営事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	高山市教育振興基本計画		市長公約
	種別			9	教育費	3		教育・文化	実施計画事業		小中学校運営事業		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線 2358	項	3	中学校費	分野	1	学校教育	H27実施計画額	千円		
	目	2		教育振興費	1	自ら学び考える力の育つ教育の推進							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	生徒	どうしたいのか (意図)	・学校運営に関する費用負担することにより義務教育の充実を図る	概要	事業の実施 手法(手段)	・学校運営に関する費用を負担する
	対象者数	2,849 人					・あたたかな人間関係づくりのための心理検査を実施し学級経営を支援する

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		・学校運営にかかる経常経費 22,622千円 ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施 1,603千円						
成果面	活動指標	生徒数	人	目標値	2,833	2,883	2,893	2,849
		実績(見込)	2,833	2,883	2,893			
	算出根拠等	5月1日現在	達成率(%)	100	100	100		
	活動指標	学校数	校	目標値	12	12	12	12
		実績(見込)	12	12	12			
	算出根拠等	5月1日現在	達成率(%)	100	100	100		
	成果面	算出根拠等	目標値					
			実績(見込)					
	成果面	算出根拠等	達成率(%)					
			目標値					
	成果面	算出根拠等	実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	算出根拠等	目標値						
		実績(見込)						
補足	算出根拠等	達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

H25決算における 分析・評価で 明らかになった課題	
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況	・生徒の状況を多面的に分析・把握するため、心理検査を継続実施した。
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討
	・心理検査の実施により学級経営の課題を教員が共有できるようになったため、さらに検査の実施学年の拡大を図る。
二次評価	○ 維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討
	・心理検査のより有効的な活用を検討するとともに、効果を検証していく必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	42,740	29,725	33,221	34,107
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	15,086	10,310	11,483	11,972
	受益者	中学校生徒	(B)	2,833	2,883	2,893

5 予算編成(Action2)

事業内容	・中学校の運営に係る経費 ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施 ・生徒健診、検尿、心電図等検査費用	要求の ポイント	事業 実施の 課題	・生徒の多面的分析の継続実施 ・生徒の健康の維持
------	---	-------------	-----------------	-----------------------------

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	33,221	34,107	886	32,845	32,845	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
財源内訳	県支出金		0				
財源内訳	その他		0				
財源内訳	一般財源	33,221	34,107	886	32,845		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	93210	中学校心の教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	高山市教育振興基本計画	市長公約
	種別			9	教育費	3		教育・文化	実施計画事業	心の教育推進事業			
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	項	3	中学校費	施策概要	分野	1	学校教育	H27実施計画額	千円	
	2362	目		2	教育振興費	4		学びのセーフティネットの構築					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	生徒	どうしたいのか(意図)	個々の内面に寄り添い支援しながら、一人一人が持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする	概要	事業の実施手法(手段)	特別な教育支援や心のケアを必要としている生徒の支援のため、保健相談員を派遣する
	対象者数	2,849 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		保健相談員 22名を各中学校へ配置						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
		保健相談員対応時間数	時間	目標値	14,693	14,693	14,693	14,796
	算出根拠等	予算額(決算額)÷980円/時	実績(見込)	14,690	14,775	14,693		
			達成率(%)	100	101	100		
		算出根拠等	目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
		算出根拠等	目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
	算出根拠等	目標値						
		実績(見込)						
		達成率(%)						
	算出根拠等	目標値						
		実績(見込)						
		達成率(%)						
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 心に悩みを持つ生徒の心のケア、不登校傾向生徒への支援などさまざまな支援が必要になっている。 通常学級に在籍し発達障がい等を抱える生徒への学習支援や集団への適応支援を行う必要がある。 支援が必要な生徒に十分対応するには、保健相談員の時間数や人数を増やす必要がある。 保健相談員のスキルアップのための研修会をさらに充実させる必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな支援が必要になっており、保健相談員だけでなく教育相談担当や担任等と連携し、相談事業に対応している。 年度当初の保健相談員研修会で、発達障がいへの理解や支援方法、不登校生徒への支援の在り方等についての研修を行った。 夏季には、発達障がい等の支援法に加え、不登校生徒への支援の在り方についても研修を行う。 県に対し、市の実情を知らせ相談員の増員を働きかけた。 	
次年度の実施方針	維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな支援を必要とする生徒が増えているため、相談員の増員や時間数の拡充、また、相談員のスキルアップを行っていく。
	二次評価 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 相談員及び教職員のスキルアップに取り組んでいく必要がある。 県に対し、相談員の配置を強く働きかける必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	14,396	14,480	14,400	19,752
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	5,082	5,023	4,978	6,933
	受益者	中学校生徒	(B)	2,833	2,883	2,893	2,849

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 保健相談員の賃金 特別な教育支援を必要とする生徒の支援 心に悩みを持つ生徒の心のケア 	要求のポイント	事業実施の課題	心に悩みを持つ生徒の心のケアに対応できる保健相談員の確保
------	--	---------	---------	------------------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		14,400	19,752	5,352	14,500	14,500	・普通交付税算入額を参考に積算	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	14,400	19,752	5,352	14,500	14,500		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	93220	中学校教育機器整備事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	高山市教育振興基本計画		市長公約
	種 別			款	9	教育費		基本分野	3		教育・文化	実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内 線	項	3	中学校費	分野	1	学校教育	H27実施計画額	千円		
	2358			目	2	教育振興費		施策概要	1		自ら学び考える力の育つ教育の推進		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	生徒	どうしたいのか (意図)	生徒の学習意欲の向上と学力の定着を図る 情報教育により情報化社会に対応した情報通信機器を活用できる力の習得や規範意識の向上を図る	概要	事業の実施 手法(手段)	情報通信関連機器などの教具・教材を整備する
	対象者数	2,849 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	教材備品の充実		中学校用教材備品の購入	14,174千円				
	理科教育設備等整備事業		吹奏楽備品の更新	5,877千円				
・WindowsXPのサポート終了に伴う、OSのアップグレード ・新規リースによる老朽化パソコンの更新 ・セキュリティソフトのライセンス購入 ・サーバの保守								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	学級数	学級	目標値	109	109	113	118
				実績(見込)	109	109	113	
	算出根拠等		5月1日現在	達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	パソコン設置台数	台	目標値	900	689	680	684
				実績(見込)	712	680	684	
	算出根拠等			達成率(%)	79	99	101	
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
補足	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H25決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・各学校の希望を考慮しながら、学校間のバランスにも配慮した学校教材の整備が課題である。 ・教育用パソコンをはじめ、積極的に情報通信機器を活用し、授業の充実をさらに図る必要がある。
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況	・校長会、学校事務職員部会等と連携して、早期発注できるよう各学校の希望を考慮しながら学校間のバランスに配慮した学校教材の整備を行う。 ・校長会等を通じて、情報通信機器のさらなる活用を促し、理科、社会など多くの教科で教育用パソコンを活用した授業を実施している。 ・教育系サーバ機器の計画的な更新を行う。	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・継続して選定基準の作成・見直しを行いながら、早期発注に努める。 ・機器更新にあたり、生徒の学習意欲の向上と学力定着につながる教育環境の整備を検討する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・教育用パソコンを積極的に授業に活用する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	17,716	42,589	33,980	36,280
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	6,253	14,772	11,746	12,734
	受益者	中学校生徒	(B)	2,833	2,883	2,893	2,849

5 予算編成(Action2)

事業内容	・教材備品の整備 ・パソコン教育の推進のための経費	要求のポイント	・吹奏楽備品の計画的な更新	事業実施の課題	・早期発注による備品整備 ・計画的な機器更新とセキュリティの向上
------	------------------------------	---------	---------------	---------	-------------------------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		33,980	36,280	2,300	34,880	34,880	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	5,000	5,000	0	5,000	5,000		
	一般財源	28,980	31,280	2,300	29,880	29,880		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	93230	中学校図書教育推進事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	高山市教育振興基本計画		市長公約
	種別			9	教育費	3		教育・文化	実施計画事業		図書教育推進事業		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	項	3	中学校費	分野	1		学校教育	H27実施計画額	千円	
	3456			目	2	教育振興費		1	自ら学び考える力の育つ教育の推進				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	生徒	どうしたいのか(意図)	・読書センターとして読書に親しめる環境が整っている ・学習・情報センターとして、自ら調べ学ぶ環境が整っている	概要	事業の実施手法(手段)	・公共図書館と連携し、専門知識を有する図書館司書等による学校図書館の管理・運営を行う。 ・バランスの取れた選書による図書購入を行う。
	対象者数	2,849 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		・図書購入 7,424冊						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
		年間購入冊数	冊	目標値	7,000	7,000	7,000	7,000
	算出根拠等		実績(見込)	7,554	7,424	7,000		
			達成率(%)	108	106	100		
	成果指標	国の蔵書基準を上回る学校数	校	目標値	12	12	12	12
		算出根拠等		実績(見込)	12	12	12	
			達成率(%)	100	100	100		
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
		目標値						
		実績(見込)						
		達成率(%)						
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・図書システムのさらなる活用を検討し、生徒の貸し借りをスムーズに行っていくとともに、生徒が自ら図書を検索し、購入する図書のリクエストをしたり、調べる学習に活用できる図書を見つけて利用したりできるようにするための指導を充実していく。 ・学習・情報センターとしての機能向上を図るため、図書館主任と図書館指導員の協働により、教科書で扱われる題材に関連した図書の展示方法の工夫や通信による紹介など、図書館運営のあり方を充実させていく。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・学校図書館図書選書委員会において、共通図書の購入の検討や各学校の図書の分類別のバランスがとれた選書を行う。 ・より充実した図書館運営のために、年3回の図書館部会を開催し、図書館主任と図書館指導員が協働して学校経営の中に図書館利用を位置付けていく。 ・調べる学習にもつながるように、生徒の興味関心を年度当初に把握し、それに合う図書の選書を行う。																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">・学習・情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、学校図書館システムの効果的な活用を図る。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	○維持・改善	・学習・情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、学校図書館システムの効果的な活用を図る。		拡大		縮小	二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)		拡大		縮小		廃止検討	
	担当課評価	○維持・改善	・学習・情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、学校図書館システムの効果的な活用を図る。															
	拡大																	
	縮小																	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)																
	拡大																	
	縮小																	
	廃止検討																	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	26,733	25,335	26,580	26,576
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	9,436	8,788	9,188	9,328
	受益者	中学校生徒	(B)	2,833	2,883	2,893	2,849

5 予算編成(Action2)

事業内容	・学校図書館の管理運営 ・分野ごとにバランスの取れた選書による図書の整備	要求のポイント	事業実施の課題	学校図書館の学習・情報センターとしての機能強化
------	---	---------	---------	-------------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		26,580	26,576	△4	26,580	26,580	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	26,580	26,576	△4	26,580	26,580		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	93240	中学校裏保護及び準要保護等 生徒援助事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	高山市教育振興基本計画		市長公約
	種別			9	教育費	3		教育・文化	実施計画事業		要保護及び準要保護児童生徒援助事業		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	項	3	中学校費	分野	1		学校教育	H27実施計画額	千円	
	2358			目	2	教育振興費		4	学びのセーフティネットの構築				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	生徒	どうしたいのか (意図)	・経済的理由のため就学困難と認められる生徒の就学を援助する ・特別支援学級等に在籍する生徒の就学を奨励する	概要	事業の実施 手法(手段)	・保護者の収入等に応じて、必要な学用品費等や学校給食費の全部または一部を援助する。
	対象者数	2,849 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	要保護・準要保護等生徒援助費 235人 25,841千円								
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27	
	援助している生徒	算出根拠等		人	目標値	242	252	253	271
					実績(見込)	223	235	232	
					達成率(%)	92	93	92	
	算出根拠等	算出根拠等			目標値				
					実績(見込)				
					達成率(%)				
	算出根拠等	算出根拠等			目標値				
					実績(見込)				
					達成率(%)				
	算出根拠等	算出根拠等			目標値				
					実績(見込)				
			達成率(%)						
算出根拠等	算出根拠等			目標値					
				実績(見込)					
				達成率(%)					
算出根拠等	算出根拠等			目標値					
				実績(見込)					
				達成率(%)					
補足									

3 分析・評価(Check)

H25決算における 分析・評価で 明らかになった課題	
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況		・就学困難と認められる生徒の保護者に対して従前と同様に支援を行い就学を奨励する
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・国の制度改正の動向等を把握しながら、引き続き、必要な援助、学校給食費の全部または一部を補助することにより就学を奨励していく。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	24,479	25,841	31,770	33,950
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	109,771	109,962	125,573	125,277
	受益者	援助している生徒数	(B)	223	235	253	271

5 予算編成(Action2)

事業内容	・要保護及び準要保護生徒への就学援助 ・特別支援学級就学生徒への就学奨励	要求のポイント	事業実施の課題	・学校と連携した制度の周知の継続
------	---	---------	---------	------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		31,770	33,950	2,180	32,500	32,500	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金	1,900	1,950	50	1,950	1,950		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	29,870	32,000	2,130	30,550	30,550		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	93260	中学校郷土教育推進事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	高山市教育振興基本計画		市長公約	高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します
	款			9	教育費	基本分野		3	教育・文化		実施計画事業	郷土教育推進事業		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	2362	項	3	中学校費	分野	1	学校教育		H27実施計画額	千円	
	目	2	教育振興費	施策概要	3	地域全体の協働による郷土教育の推進								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	生徒	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 子ども教育参画会議を中心とする地域の教育力を活用した教育を推進する 学校や地域の特性を生かした特色ある教育活動を推進する 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 子ども教育参画会議や子ども教育地域連携協議会と連携する 各学校の特色ある学校経営を支援する。 各学校でその地域の特色ある講師や、生徒に興味関心を持たせることができる講師を招き様々な学習活動を行う。
	対象者数	2,849人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		<ul style="list-style-type: none"> 外部講師による授業時間 900時間 特色ある学校運営推進協議会補助金 3,143千円 						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
		外部講師活用時間数	時間	目標値	900	900	900	900
	算出根拠等	実績(見込)	826	900	900			
		達成率(%)	92	100	100			
	算出根拠等	目標値						
		実績(見込)						
	算出根拠等	達成率(%)						
		目標値						
	算出根拠等	実績(見込)						
		達成率(%)						
	算出根拠等	目標値						
		実績(見込)						
算出根拠等	達成率(%)							
	目標値							
算出根拠等	実績(見込)							
	達成率(%)							
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある学校経営推進事業については、協議会で各学校の事業計画の内容についてよく精査し、郷土教育を軸とした特色となる事業を実施できるよう指導していく必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 特色補助金における事業内容については、平成26年度は「郷土教育を軸とした学校づくり」の視点から地域との連携を図りながら、地域の特色を生かした学校経営の計画を練り上げるように指導をした。学校が、地域との結びつきや郷土教育の視点を重視し、継続的に取り組んでいる伝統的な事業や、その時々々の情勢に合わせ夢と活力ある学校づくりにつながる新規事業を認定した。 ダンスや音楽など専門性の高い講師活用に加え、郷土教育の場面でも地域の方から学ぶ機会が多いことから、外部講師の活用計画を立て効果的に活用する。 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 事業を継続しながら、各校での事業内容が特色を生かした学校経営、豊かな教育環境の創出につながるよう指導していく。 多様な事業の実施方法を紹介し、地域の人材をより効果的に活用し、生徒の豊かな学習活動につなげる。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある学校経営推進協議会補助金について引き続き各校の実施内容を精査するとともに、効果を検証していく必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	4,862	4,943	5,360	5,997
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,716	1,715	1,853	2,105
	受益者	中学校生徒	(B)	2,833	2,883	2,893	2,849

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある学校経営推進事業に対する助成 外部講師への謝礼 キャリア教育の推進 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 郷土教育(特色ある学校経営、リーダー育成のためのキャリア教育)の推進 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 多様な学習、体験のため、講師に地域の人材を活用 特色ある学校経営推進事業の効果的実施
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,360	5,997	637	5,730	5,730	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,360	5,997	637	5,730	5,730		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	93290	中学校部活動支援事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	高山市教育振興基本計画		市長公約
	種別			9	教育費	3		教育・文化	部活動支援事業				
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	項	3	中学校費	分野	1	学校教育	実施計画事業	部活動支援事業		千円
	2359	目		2	教育振興費	2		豊かな心と健やかな体を育む教育の推進	H27実施計画額				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	生徒	どうしたいのか(意図)	・部活動を通して生徒の心身の健全育成を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・部活動を支援する
	対象者数	2,849 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		・各種大会派遣補助金 4,849千円						
成果面	活動指標	生徒数	人	目標値	2,833	2,883	2,893	2,849
		実績(見込)	2,833	2,883	2,893			
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100		
	成果指標	部活動において県大会以上へ出場した回数	回	目標値	120	120	120	120
		実績(見込)	103	110	120			
	算出根拠等		達成率(%)	86	92	100		
				目標値				
		実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値				
実績(見込)								
算出根拠等		達成率(%)						
			目標値					
	実績(見込)							
算出根拠等		達成率(%)						
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・部活動に対して効果的な支援を検討する。
--------------------------	----------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・部活動に対して、公平かつ効果的な支援をする。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・部活動に対して、公平かつ効果的な支援をする。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	7,251	6,739	9,950	9,950
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2,559	2,337	3,439	3,492
	受益者	中学校生徒	(B)	2,833	2,883	2,893	2,849

5 予算編成(Action2)

事業内容	・部活動の大会派遣等に対する費用の助成	要求のポイント	事業実施の課題
------	---------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		9,950	9,950	0	9,950	9,950	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	9,950	9,950	0	9,950	9,950		